



おちいし界隈ガイド



落石漁業協同組合 ①



TEL 0153-27-2121
FAX 0153-27-2537

1910(明治43)年
石盛漁業組合として創立
1949(昭和24)年8月23日
法令改正により
落石漁業協同組合設立

落石・浜松・昆布盛と3つの港を中心に、豊富な海に恵まれサケ・マス・サンマ・タコ・コンブ・ホッキなどを水揚げ、全国に流通、好評を得ています。今後も豊かで、活気ある漁村を目指し、水産業を核とした地域振興や観光に邁進してゆきます。

<http://www.ochiishi.or.jp/>

新鮮+品質管理を徹底した落石漁協のブランド『しお風』旬の味を、旬の時期にお届けします。

期間限定

- 船上沖詰毛ガニ(2, 3月)
- 船上活メときしらす(5, 6月)
- 船上沖詰さんま(9~11月)
- 船上活メ秋鮭(9~11月)

ホームページより購入できます。



地域の漁師の皆さん総出で、地元の味自慢をPR!

毎年6月、第1日曜日
おちいし味まつり

⑩ 株式会社 兼由

TEL0153-27-2231
水産物の加工および販売
創業●1915年(大正初期)前後



新鮮なサンマを産地個室で加工。食べやすい一口サイズで美味しく、持ち運びが楽で、お土産に最適。

おすすめ商品

購入は道の駅スワン44ねむろ、マルシェ・デ・キッチンなどにて。

<http://www.kaneyoshi.jp/>

大正初期に漁業経営から始まり、昭和にはサケ・マス、サンマを主とした漁業会社として成長。平成に入ると水産加工品の製造事業を展開。道内屈指の地元落石の企業。豊富な海の幸を新鋭の製造ラインで加工、商品管理を徹底し、全国へお届けしています。



フットパス、クルーズの受付、霧娘の商品はこちらでどうぞ。

⑫ エトピリ館

TEL&FAX 0153-27-2772
営業●9:00~17:00(年末年始をのぞく)

ルートマップ販売所



豊かな海は、自然も豊か。
落石ネイチャークルーズ



予約制

大人 7000円
小学生 3500円

毎週金・土・日・祝日
1日2便・3名から運行、定員12名
(ただしガイドを含む)



海鳥の宝庫、ユルリ・モユルリ島の海を行く、約2時間半のクルーズ。日本ではたいへん珍しいエトピリカは、6~8月に見ることが多い。



地元産にこだわり、つねに新商品を考案。

2007(平成19)年に落石漁協女性部の有志で結成した。試行錯誤を繰り返し、現在はエトピリ館を本拠地に、味自慢・腕自慢の6人が、地元産の新鮮な海の幸を使った商品の製造販売をしている。また北海道有数のタコの水揚げ港であるため、それを生かした商品づくりに力を注いでいると、代表の小谷鈴子さん。



きりっこの定番商品



たこキムチ 460円
さんまくんせい 380円
たこやわらかに 450円

浜の母さん特製お弁当 1000円(要予約)

輝かりし、おちいし

昭和40年前後の落石駅には駅員がいて、駅前に漁協の事務所が、それに灯台守りのいた落石岬灯台に無線局と営林署、それぞれで多くの人々が働いていた。町にはたくさんの商店や酒屋があって活気があり、北洋サケ・マスの漁期、港に船が溢れていた。山吹色に塗られた中型漁船には1隻あたり約20人が乗り組む。落石港だけで10隻以上、それだけで約200人の漁船員になる。すべてに人力が必要でサケ・マスの荷揚げ作業、昆布干しをする「おか廻り」という人たちが、また定置網漁の食事をつくる「飯炊きさん」まで。石川、富山をはじめ青森、函館などから多くの人々が仕事に来ていた。毎年最盛期になると1000~1500人の人が落石にいたのではないかと。当時、小・中学校に約300人位の子供がいた。運動会やお盆、お祭りも賑やかで、今でもいい思い出として残っている。



浜辺洋一さん

1942(昭和17)年落石生まれ。父は落石無線局に勤務していた。

根室フットパス NEMURO FOOTPATH

厚床バス・初田牛バス・別当賀バス
落石シーサイドウェイ
浜松バス・おちいし岬バス

5つの歩く道

落石シーサイドウェイを歩くには
通行証となるルートマップを入手しよう

ルートマップ販売所

- 落石地区
 - ・根室石油(株)落石給油所 ⑤
 - ・エトピリ館 ⑫
 - ・落石漁業協同組合 ①
- その他 根室市内
 - ・根室市観光協会
 - ・道の駅スワン44ねむろ
 - ・明郷伊藤☆牧場

